

# 新しい滑川

No. 35

2016年2月6日  
発行：羽尾187  
1-1 阿部方  
日本共産党  
滑川町支部  
Tel・fax0493-5  
7-2655  
hiroaki0218@o  
utlook.jp

皆さんの声・意  
見・ご要望も  
お聞かせくだ  
さい。

## 住民参加の議会改革・広報 づくりを学ぶ

滑川町議会は1月28日・29日、山梨県昭和町で委員会視察を行いました。

### 「井戸端会議」で住民参加の議会運営

今回の視察は  
①現在、滑川町で検討されている「議会基本条例」の参考にすること  
②「広報」で全国の中でも優秀な成績を収めている昭和町の「広報」を学ぶことです。

視察には滑川町議会から議会運営委員会と広報対策委員会から12名が参加しました。昭和町からは三井議長と議会運営委員会、事務局が対応していただきました。

### 「議員研修」「ワークショップ」などで議員自ら資質向上

また、議員自らが研修を行うため「山梨学院大学との提携」を行い、議員自らがテーマを決めて年間で8回もの研修会や学生との「ワークショップ」も行う、「町民の代表としてその信託に応える」努力を続けていること

日本国憲法の規定に基づく地方自治制度の二元代表制のもと、町議会は、選挙により選ばれた町民の代表者である議員の活動により運営される議事機関であり、多人数の合議制の機関として、町議会と町が切磋琢磨して重要な意思決定をし、議決責任を持つ役割を担っている。地方分権時代を迎え、ますます行政需要が

### 昭和町議会基本条例<前文>

このような状況の中で、議会は、効率的でわかりやすい運営を行い、町民の意思を反映した「開かれた議会」を目指すとともに、その果たすべき責務を明らかにし、監視機能を調査機能、政策形成機能などをさらに強化していくこと、この条例を制定する。

「年金だけでは暮らしていけない」「体を壊して仕事ができない」「暮らしが大変」「防犯灯をつけてほしい」…

### こんな相談増えています

「年金だけでは暮らしていけない」「体を壊して仕事ができない」「暮らしが大変」「防犯灯をつけてほしい」…

「ここに防犯灯をつけてほしい」との要望がありました。



②国はすべての生活面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならないが基本になっています。ですから「年金だけでは暮らせない」「病気で医療費負担が大変」という方も勇気をもってご相談ください。解決の糸口になります。

### 【相談②】「身の回りのこと」の解決を

アンケートで寄せられた「防犯灯」や「カーブミラー」「歩道を直して」などのご相談も多くなっています。諦めないで、ご相談に来てください。